

三次市では、1994年以降、米軍機によるとみられる低空飛行訓練により地域住民は、日々爆音や事故等の不安に悩まされています。

このため、三次市では、市民の不安解消と安全確保の見地から、広島県を通じ、外務省及び防衛省に対し、訓練中止の措置を繰り返し要請してきました。

しかし、12月20日にも、午後1時20分頃かなりの低空での飛行を目撃したとの通報を市民から多数受けています。

今回は特に、三次市立作木小学校の上空を超低空で飛行し、校庭で活動していた児童に多大な恐怖をあたえています。

日米合同委員会の合意において、住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払うとされる学校施設において、このような低空飛行が行われたことは、到底容認できることではなく極めて遺憾です。

市民の目撃情報から、パイロットが2名確認できたほどで、150メートル以下で飛行してはならない日本の航空法を遵守している飛行であったとは思えません。

大使閣下におかれましては、実態が明らかにされないまま日々繰り返される米軍機と思われる航空機の低空飛行訓練によって激しい騒音被害や事故発生の危険性の増大など市民の平穏な生活が乱されているという現実を認識の上、低空飛行訓練の中止、米軍機の安全管理の徹底について適切な措置を講じられるよう強く要請します。

2011年12月22日

アメリカ合衆国
駐日本国特命全権大使 ジョン・V・ルース 閣下

日本国 広島県三次市長 増田和俊

三次市では、1994年以降、米軍機によるとみられる低空飛行訓練により地域住民は、日々爆音や事故等の不安に悩まされています。

このため、三次市では、市民の不安解消と安全確保の見地から、広島県を通じ、外務省及び防衛省に対し、訓練中止の措置を繰り返し要請してきました。

しかし、12月20日にも、午後1時20分頃かなりの低空での飛行を目撃したとの通報を市民から多数受けています。

今回は特に、三次市立作木小学校の上空を超低空で飛行し、校庭で活動していた児童に多大な恐怖をあたえています。

日米合同委員会の合意において、住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払うとされる学校施設において、このような低空飛行が行われたことは、到底容認できることではなく極めて遺憾です。

市民の目撃情報から、パイロットが2名確認できたほどで、150メートル以下で飛行してはならない日本の航空法を遵守している飛行であったとは思えません。

司令官様におかれましては、実態が明らかにされないまま日々繰り返される米軍機と思われる航空機の低空飛行訓練によって激しい騒音被害や事故発生の危険性の増大など市民の平穏な生活が乱されているという現実を認識の上、低空飛行訓練の中止、米軍機の安全管理の徹底について適切な措置を講じられるよう強く要請します。

2011年12月22日

米海兵隊
岩国航空基地司令官 ジェームズ・C・スチュワート大佐 様

日本国 広島県三次市長 増田和俊